

第4回非がん疾患のイントロライブセミナー-2020年11月1日

「認知症の方の意思決定のためのコミュニケーション」

(伊東美緒) の講演からのメッセージ (内田陽子が講演聞いて要約)

- どのような状況の方でも“今されていること”については「嫌」ということは表現でき、これは意思表示である。
- しかし認知症の人の意思決定はその瞬間にできるものばかりではなく、これからの治療の話など、現在生じていないことについては反応するのが難しい
- 毎日、認知症の人は意思を表出している。「拒否」も意思表示の一部。一生懸命に伝えてきたが聞いてもらえないことはなく、エネルギーを使い果たして無反応の状態になるのではないだろうか
- コミュニケーションの取り方によって認知症の人の表現は変わる

→日々の小さな意思表示に気づこう

大切にしてもらえると本人が感じられるケアを提供しよう

ケアを始める前に挨拶、ケアや治療を始めてもよいか尋ねる。

視覚・触覚・聴覚からポジティブな情報を伝えよう